

研究協力をお願い

札幌孝仁会記念病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

<p>課題名</p> <p>当院におけるダビンチシステムを用いたロボット支援下僧帽弁形成術後の リハビリテーション経過の報告</p>
<p>1. 研究の対象および研究対象期間</p> <p>2025年1月から12月までに当院でロボット支援下僧帽弁形成術を施行した方</p>
<p>2. 研究目的・方法</p> <p>本邦においてロボット支援下僧帽弁形成術は普及しつつあるが、その低侵襲性が術後のリハビリテーション 進歩や身体機能の回復過程に及ぼす影響については、まだ十分な知見が得られていません。</p> <p>本研究は、当院において同手術を施行した患者さんを対象に、術後の離床状況や歩行自立までの期間、リ ハビリテーション実施状況を後方視的に調査・解析し、その有効性と安全性を明らかにすることを目的としてい ます。</p> <p>研究期間</p> <p>倫理審査委員会承認後病院長許可日から2027年3月31日</p>
<p>3. 研究に用いる試料・情報の種類</p> <ul style="list-style-type: none">術後自立歩行獲得までの日数基本情報（身長、体重、採血データ、心エコー等）手術前後での身体機能評価（握力、歩行速度、バランス機能等） <p>※ 患者様が特定可能なカルテ情報は使用いたしません。</p>

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：社会医療法人孝仁会 札幌孝仁会記念病院 リハビリテーション部

研究責任者：小澤 真廣

住所：063-0052 札幌市西区宮の沢2条1丁目16-1 電話番号：011-665-0020

その他、本研究の計画、実施、発表に関して可能性のある利益相反（conflict of interest）はありません。